

令和3（2021）年度 事業報告書

特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク

I. 事業期間

令和3（2021）年4月1日～令和4（2022）年3月31日

II. 事業の成果と課題

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止により、活動自粛・活動休止の1年であった。

令和3（2021）年度からの事業方針「人づくり・人育て」により、20世紀を知らない20代の若年層が活躍し、若年層への役割分担を含めた世代交代が出来た。

● 「つどい」の委託運営

- ・ プロポーザル公募では「人づくり・人育て」をコンセプトにした事業提案の基、八尾市との連携により「校区まちづくり協議会」を対象に、活動時にリモートを活用している若年層の「つどいスタッフ」が、「Zoom講習会」「LINE講習会」等の講師派遣を行った。
- ・ 中間支援組織として、校区まちづくり協議会への新しいつながりと支援、行政（出張所・コミュニティ推進スタッフ）との新しいつながりと協働が生まれた。
- ・ 「行政主体のまちづくり」から「市民主体のまちづくり」に権限と予算の移譲を促進・啓発する中間支援組織として、組織内の権限と人件費の移譲を有言実行する事が出来た。

● 対象者への助け合いが定着（光専寺の会場使用料の捻出）

- ・ 活動自粛時の支援及び「つどい」夜間閉館に伴う活動場所の提供等として、部屋及び活動に必要な機器・人的支援等の提供により、令和2（2020）年度の会場使用料の捻出は、受取寄附金以外に賛助会員や正会員からの受取会費であったが、令和3（2021）年度は会場及び設備利用者からの寄附を含む受取寄附金で全てを捻出することが出来た。

● 賛助会員といった第二の顧客づくり

- ・ 第三者による協力（第二の顧客）の発掘として、新しく入会した賛助会員が8会員増えた。「つどい」の委託運営といった中間支援の必要性に共感をいただき、会員数を増やしてお納めくださった賛助会員もおられた。過去に「つどい」の委託運営で支援した事により活動が展開出来た恩返しとして、入会された賛助会員もおられた。

III. 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

1-1 市民活動に関する情報の収集および提供

今年度は「つどい委託事業」の業務内で行った。

1-2 市民活動に関する調査及び研究

今年度の実施はなかった。

1-3 市民活動に関する講座・講演

今年度の実施はなかった。

1-4 市民活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

- 1) (事業名) 八尾市市民活動支援ネットワークセンター運営業務

(内容) 「八尾市市民活動支援ネットワークセンター運営業務」として「つどい」の委託運営を行った。

(実施場所) 八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」

(実施日時) 令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日

(対象者) 八尾市民

(収益) つどい管理運営事業助成金 9,163,000円

(費用) 別紙の「財務諸表の注記」の「事業費の内訳(別紙)」を参照

※ 詳細の事業内容は、別冊【令和3年度 八尾市市民活動支援ネットワークセンター運営に係る業務報告書】をご覧ください。

1-5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

- 1) (事業名) 新年ネットワーク交流会【開催自粛】

(内容) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を自粛した。

(収益・費用) 共に0円

- 2) (事業名) 行政への参画づくり(審議会・市民会議)及び情報共有

(内容) 市民委員として行政が主催する審議会や委員会に、下記の委員を推薦・選出し、下記の審議会・委員会に参画することが出来た。

- ・ 「八尾市芸術文化振興審議会委員」：大内涼加委員
- ・ 「八尾市市民参画と協働のまちづくり条例評価委員会委員」
：小林永遠委員(委員の世代交代も実現)

(収益・費用) 共に0円

- 3) (事業名) 活動自粛時の支援及び「つどい」夜間閉館に伴う活動場所の提供等

(内容) 夜間の活動場所として部屋及び活動に必要な機器・人的支援等の提供を行った。各活動主体とのつながりづくりの維持及び支援を行った。

(実施場所) 光専寺(八尾市本町7丁目9番2号)

(実施日時) 令和3(2021)年4月1日～令和4(2022)年3月31日

(対象者) 八尾市内の各種活動主体及び八尾市民 (会議 57 回・印刷 9 回利用)
 (収益) 受取寄付金 176,327 円
 (費用) 福利厚生費 10,268 円・諸謝金 2,400 円・消耗品費 13,903 円・水道光熱費 1,944 円・賃借料 80,000 円・減価償却費 38,317 円

4) (事業名) 他団体との連携づくり・場づくり提供

(収益・費用) 共に 0 円

※ 下表の通り実施した。

事業名	内容	実施日時
「地域コミュニティカフェ yotteco」の立上げ支援	つどいの相談業務で対応した案件であり、つどいスタッフ等が有志で団体を立上げた事から、理事有志で立上げ支援を行った。	8月4日
労務・税務等の電子手続き化	下記 3 点を電子化に移行またはチャレンジした。 ① 経済産業省「G ビズ ID」取得による厚生労働省「労働保険料・一般拠出金申告」電子申請 ② 税務署の源泉徴収を引落すため「電子申告・納税等に係る利用者識別番号等の通知」及びダイレクト納付の申請を実施 ③ 年金事務所「算定基礎届」の電子申請はシステムの不具合により窓口提出を実施。	①6月25日 ②1月6日 ③7月8日
情報公開の向上 (Web 再構築の代替対策)	ホームページの再構築が進まないため、「CANPAN NPO+」で市民活動の活動内容を情報発信するひとつとして「NPO 団体情報データベースの構築」に登録。 公益活動団体の積極的な情報発信のサイトとして、「CANPAN FIELDSS」の「団体情報」ページにおいて、法人の「基礎情報等」「財政・会計情報」「組織運営・行政提出情報」等の公開を行った。	6月14日
環境省主催、市町村行政職員若年層向け研修用の動画出演	「環境総合計画の推進と市民団体とのパートナーシップ」と題して、20 年前に市民と行政等が立ち上げた環境パートナーシップ協議会が全国の市町村で立ち上がったが、近年相次いで解散している。 その中で、八尾市の「環境アニメイティッドやお」が継続している要因を、協議会の歴代の若年層事務局員と市民活動団体の若年層が出演し、全員でインタビュー対応した。時代に応じて、当時の若年層が協議会事務局として携わる事で、変化に対応して来た事(チェンジエージェント)が、協議会が今日まで継続した要因であることを突き留めた動画になっている。当法人副理事長が出演。	9月16日
アンケート回答	① 大阪府「中間支援団体に関する調査」の回答 ② 「経済センサス・活動調査」の回答	①5月26日 ②5月29日
助成金申請推薦者コメント	高齢者支援ネットワーク連絡会が令和 4 年度「キリン・地域のちから応援事業」に助成金申請を行った際に、推薦者コメント依頼があり対応。	10月20日
「八尾なんやかや」冊子化の情報提供	筆者と有志で「八尾なんやかや」を冊子化されるにあたり、「つどい」発行の「ニュースつどい」と当法人発行の「NPO やお通信」に掲載されていた記事を提供。	通年

2. その他の事業 (なし)

IV. 社員総会の開催状況

○ 通常総会 6月 12 日（土）14 時～15 時

（内容）第 1 号議案：議事録署名人の件

第 2 号議案：令和 2 年度 事業報告書の件

第 3 号議案：令和 2 年度 貸借対照表・財産目録・活動計算書の件

第 4 号議案：令和 3 年度 事業計画書（案）の件

第 5 号議案：令和 3 年度 活動予算書（案）の件

第 6 号議案：役員選任の件

第 7 号議案：その他議案の件

V. 理事会その他の役員会の開催状況

○ 第 1 回理事会 6月 12 日（土）13 時～14 時 出席者：5 名

（内容）第 1 号議案：理事会議事録署名人及び通常総会の議事録署名人（案）の件

第 2 号議案：令和 2 年度 事業報告書及び 貸借対照表・財産目録・活動計算書の件

第 3 号議案：令和 3 年度 事業計画書（案）及び活動予算書（案）の件

第 4 号議案：役員選任の件

第 5 号議案：その他議案の件

○ 第 2 回理事会 1月 30 日（日）18 時半～20 時 出席者：4 名

（内容）第 1 号議案：今後の事業の方向性・当法人の使命（ミッション）の確認

（フリートーク）

VI. 会員数（3月末現在）

正会員：17 会員（1 会員増加） 賛助会員：40 会員（16 会員減少）

※ 2 カ年未納の賛助会員は、定款に則り自動退会手続きを実施（24 会員）

以上